いざ！対決!! ドッジボール

作成日：2023/11/20
対象児：ふじ組　5歳児
作成者：小城亜矢子

ねらい：好きな遊びを通して、友達と思いを共有し合い、遊びを広げていく。

振り返り：
11月に入って涼しくなり、園庭で体を動かして遊ぶことが増えました。中でも最近のブームはドッジボール！「グーとパーで分かれましょ」と2チームに分かれると、外野に行く人やジャンプボールをする人をジャンケンで決めます。初めのうちは自分がしたくて譲りにくかった子もいましたが、その都度どうやって決めるか子ども達で解決していく様子を見守ったり、時には声をかけたりしてきました。何度も試合を繰り返すうちに、「自分が」という思いから「（友達や年下の子に）やってみる？」と優しく進める姿が見られるようになってきました。私は今年度、他学年との交流を大事にしてきました。年下の子に対しての声掛けや接し方など、同学年だけでは気付けない事や学べない事がたくさんあります。優しく声をかける、年下の子には特別ルールを設けるなど、みんなと一緒に遊べるには年長の自分達はどう動くといいのか、体験を通して身について欲しいなと思うからです。またそれは年長児だけではなく、年下の子にとっても、お兄さんやお姉さんにしてもらえたことを友達や自分より年下の子に繋げらていけたらいいなと思います。
楽しむうちにだんだん勝ちたいという思いが出てきて、「かえで組と対決しようや！」という声が上がりました。「じゃあ何か準備をしなくちゃね」と私が声をかけると「果たし状作る？」「みんなにドッジボール大会するよって伝えよや」「じゃあまたチラシ作ろう!!」とどんどんアイデアが出てきました。お店屋さんごっこをしたり、お化け屋敷ごっこをしたりしてきましたが、その経験を活かして子ども達で何があると面白くなるのかを考える姿が見られます。今度子ども達が計画・準備したふじ組VSかえで組のドッジボール対決をする予定です。そして園にはポルト（放課後児童クラブ）の子もいます。冬休みに年長児コアラキッズVSポルトの対決も面白いんじゃないかなと思っています。（健康な心と体、言葉による伝え合い、協同性）